令和元年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立北小学校

１．本年度の学力・学習調査結果の概要について

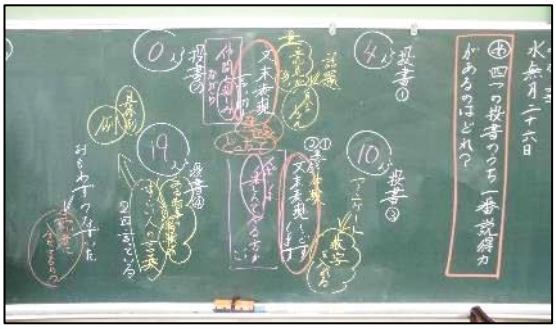
・国語、算数ともに正答率が全国を上回る良好な結果でしたが、記述形式の問題については課題がありました。
・国語については、これまで取り組んできた質の高い学びを実現するための授業改善の成果が表れています。
・算数についても良好な結果でしたが、示された式の意味を理解し、自分なりに読み取り説明することに課題がありました。

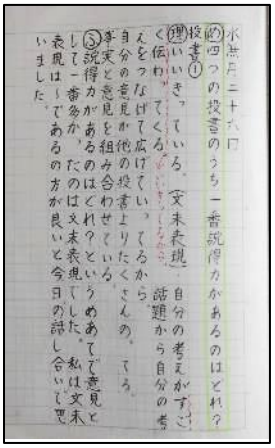
２．各教科における成果と課題について

		成　果	課　題
国語	○関心・意欲・態度 ○言語についての知識・理解・技能	・児童質問紙調査から国語についての肯定的な回答が高く、特に読書については低学年から取り組んでいる読書活動の成果として捉えています。 ・文と文との意味のつながりを考え、接続語を使って書くことやことわざの意味を理解し、自分の表現に用いることができていました。	・他の問題に比べ、漢字を文の中で正しく使うことに課題がありました。 ・目的に応じて、本や文章を全体的に捉え、効果的に読むことに課題がありました。
	○話す・聞く能力 ○書く能力 ○読む能力	・示された文章について、記述の仕方の工夫を捉えること・自分の考えを明確にしながら読むことについては、良好な結果でした。授業の中で目的や意図に応じて、資料を読み取り自分の考えを書く力の育成をめざした指導の成果が表れてきています。	・記述形式の問題については、他の問題に比べて正答率が低く、無解答率が高いといった課題がありました。 ・目的や意図に応じて、自分の考えを明確にし、まとめて書くことについて課題がありました。
算数	○関心・意欲・態度 ○数量や図形についての知識・理解	・「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」に対する回答は良好であり、自分の考えをノートに書き、発表につなげる指導の成果が表れています。 ・図形の性質や構成要素については確実に理解しており、良好な結果でした。	・「算数の勉強は好き」について肯定的な回答に課題があったので、授業において児童が主体的に取り組むための課題を設定することに努めていきます。 ・示された除法の式の意味を理解することに課題がありました。
	○数量や図形についての技能 ○数学的な考え方	・図形の性質や構成要素を理解し、他の図形を構成することや計算方法の混合した計算することができていました。 ・資料の特徴や傾向を関連付けて理由を記述することについては良好な結果でした。表やグラフを用いて表現したり読み取ったりする指導の成果が表れています。	・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること、複数の数量から必要な数量を選び、立式することに課題がありました。 ・示された課題に対して正確に演算決定することやその式を読み取ることに課題がありました。

３．本校の学力向上に関する現在の取組みについて

作業的・体験的な活動を通して、学習内容の確かな意味理解につなげています。また、ペア学習やグループ学習の時間を確保し、対話を通してお互いの考えを共有しながら学び合い、学習の深化を図っています。





教室内の掲示物や学習内容を児童の思考にもとづいて板書すること、また児童の興味・関心を引き付けるような課題設定をすることなどの工夫改善を重ねています。
そうすることで思考力・判断力・表現力の育成をめざしています。

校内研修部・STF 担当が中心となり、授業力向上のための教員研修を行っています。また、キラキラノート集会を開き、児童が書いた優れたノートを紹介しています。そうすることで、児童一人ひとりの書く力の育成と主体的に参加できる授業をめざしています。

４．今後の取組みの方向性について

・成果を伸ばし課題を解決するための授業改善や校内研究の推進

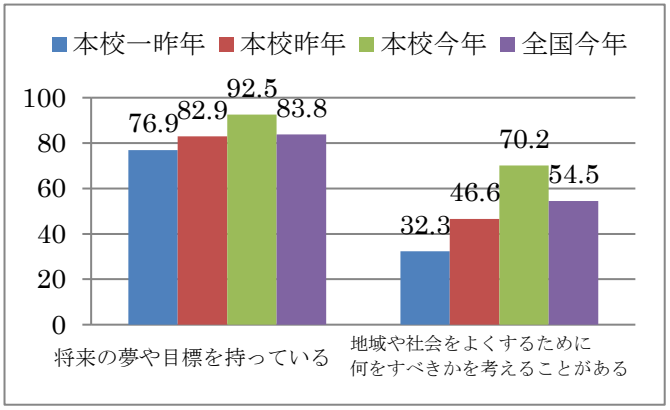
学力向上において、全国学力・学習状況調査から明らかになった成果については今後も工夫改善し継続した取組みを進め、課題があった点については改善を行ってまいります。

〇国語については、低学年から積み重ねている読書活動をはじめとした言語に関する基礎的な力を活用し、自分の考えを明確にし、根拠を示しながら書く力をさらに育てていきます。そうすることで、互いの考えを交流し合える授業をめざし、学習内容の深化を図っていきます。

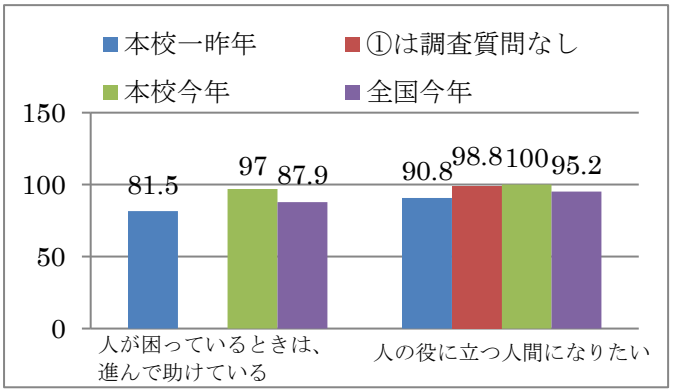
〇算数の課題としてあげた問題については、正答条件が 3 つあり、そのうち 2 つの条件を満たしながらも正答にいたっていないという児童が 20%～40%いました。また、示された面積や式の説明を書くという問題であったため、答えだけを求めるという授業ではなく、解答までの経過を大切にした思考力を育てる学習活動を進めていきます。

５．児童質問紙調査の結果の概要

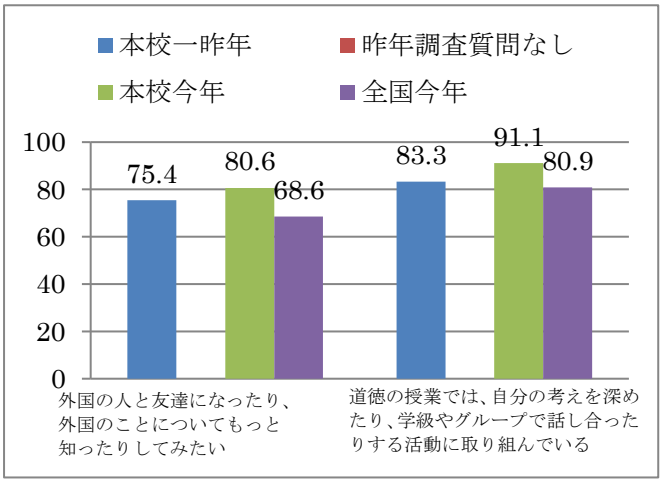
〈取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について〉



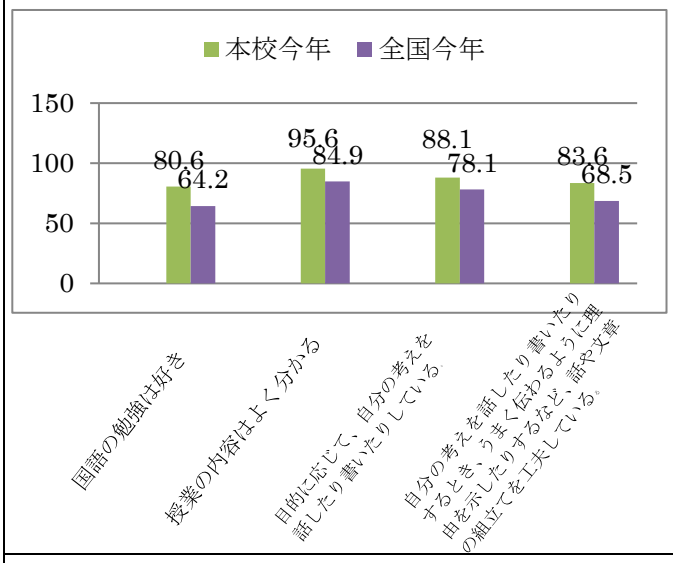
「将来の夢や目標を持っている」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の質問では、過去３年間で肯定的な回答が増えています。今後もキャリア教育を一層充実させ、学びを自分の将来や地域社会に活かそうとする心を育んでいきます。



「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」の質問でも、肯定的に回答する児童が増えています。校内のたてわり活動やたてわり清掃、保幼小中の連携等をさらに進め、自己肯定感や自己有用感を育てる取組みを計画的に進めていきます。

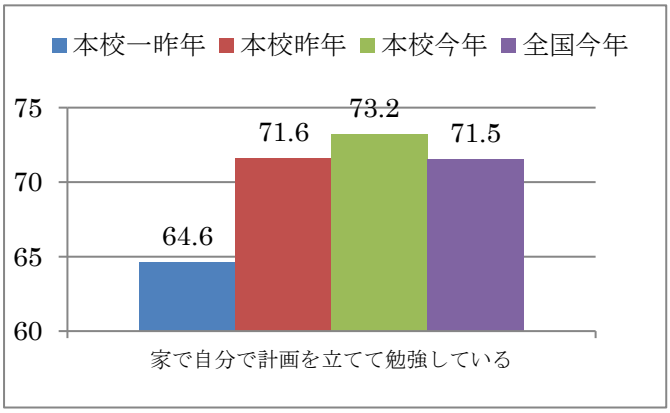


「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」の質問でも、肯定的回答が全国を大きく上回っています。今後も「外国語（5,6 年）・外国語活動（3,4 年）」や「特別な教科道徳」の授業内容の充実をさらに進めていきます。

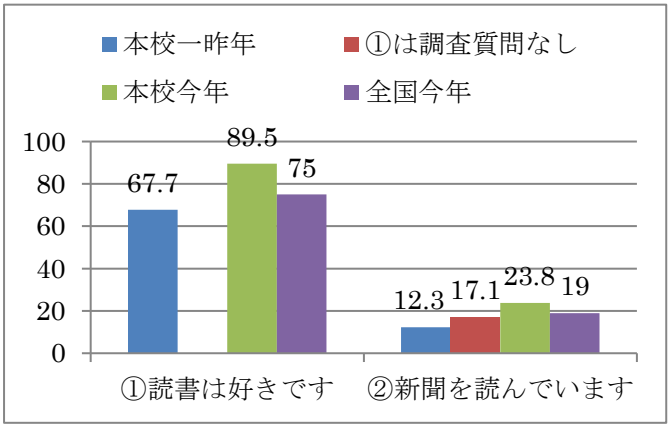


「国語の勉強は好き」「授業の内容はよく分かる」「目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」「自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」に肯定的回答が高く、国語の授業の充実がうかがわれます。児童が主体的に学び、友達と対話を進めながら深めていくことができる授業づくりをさらに進めていきます。

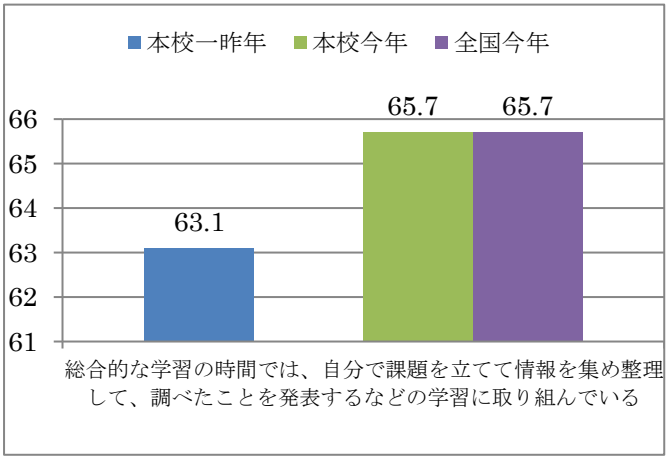
〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉



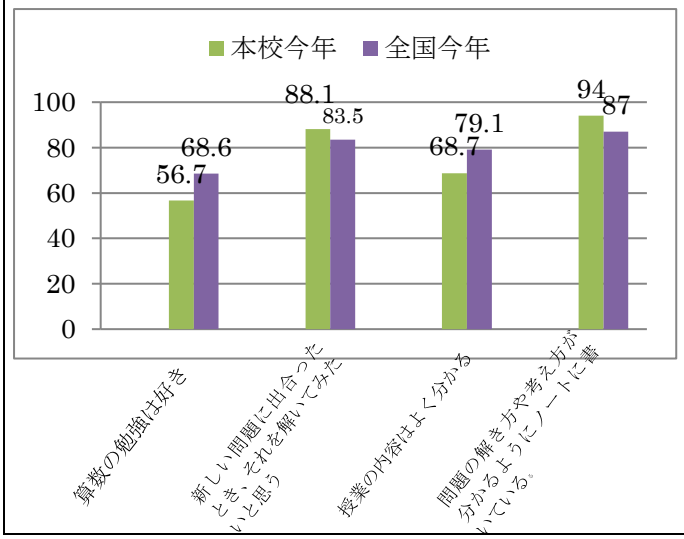
「家で自分で計画を立てて勉強している」と肯定的に回答した児童は、昨年度より少し増え、全国を上回っています。しかし、これからも家庭学習を計画的に行う習慣の確立に向け、学校と家庭が協力して取り組んでいく必要性があると考えております。



「読書は好きです」の質問に肯定的な回答は高く、全国を上回るものの「新聞を読んでいます」との回答については低い結果となっております。今後、新聞の記事に興味を高めることができるよう、授業等で新聞記事を読み比べたり、論理的な投書の書き方を学んだりする機会の充実を図っていきます。



「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる」と回答した児童は全国と同じ結果ではありましたが、さらに児童の探究的な活動を重視し教科等と横断的に関連させた学習過程の充実に努めていきます。



本校の算数の学力テストの正答率は全国を大きく上回る結果でしたが、「算数の勉強は好き」「新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」の質問では肯定的な回答が全国を下回りました。「授業の内容はよく分かる」「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」の回答は良好であったため、今後児童の主体的な学びの実現をめざし授業改善に努めていきます。

６．保護者・児童のみなさんへ

全国学力・学習状況調査について、国語・算数ともに全国を上回る良好な結果でした。特に国語は言語についての知識・理解・技能、算数は数学的な考え方が問われる問題について大変良好な結果でした。記述式の問題については全国の正答率と比較すると上回る結果ではありましたが、本校の結果の中で比べると、正答率が低く無解答率が高くなっていました。特に算数については、記述しているものの正答条件を満たせず、誤答となっている児童が少なくありませんでした。今後も、国語・算数ともに児童の興味・関心を引き出すような課題を設定し、主体的に参加できる学習活動の充実を図ります。

学校質問紙では、「将来の夢や目標を持っている」と多くの人が肯定的に答え、「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」についても良好な結果でした。自分の夢を持ち、その実現に向けてたゆまぬ努力を続けていってほしいと思います。また、「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の質問に対しても大変良好な結果でした。自分の学びは自分一人だけで達成されるものではありません。常に自分を成長させてくれた周りの人への感謝を忘れず、自分の学んだことを将来、地域や社会に活かしていこうとする心豊かな人に成長してくれることを願っています。

今後ますます、みなさんが自分を成長させるために、今のようにどんどん本に親しみ、読書を進めていってください。本を読むことで、みなさんがこれまで知らなかったことや考え方に出会うことができ、新しい自分に出会えることができます。一方、新聞を読む機会は全国の子どもたちと同様に、あまり多くはないようです。知らない漢字も多く、読みづらいことが原因の１つなのでしょう。しかし、自分の興味のある記事だけでも読む習慣をつけることで、現在の世の中のことを知る良い機会になります。また、記事の内容や事実の取り扱い方について、自分なりの考えを持つことを意識することは、正しい判断力を育てるためにもとても大切だと思いますので、ぜひ新聞記事も読んでみましょう。

北小学校では、教職員一同と保護者の皆さま、地域の皆さまが互いに手を取り合い、学校目標である「自分の良さを発揮し、人と支え合い、高め合う子ども」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

今後ともご支援・ご協力よろしくお願いいたします。